

◎パチスロ北斗の拳 修羅の国篇 羅刹ver.

2016年7月に登場した「A-SLOT北斗の拳 将」以来となる、「北斗」のノーマルタイプとして注目の集まる本機。ロングRTと豊富な技術介入要素でユーザーを魅了します。また、リーチ目が出やすい順押し、演出に発展しやすい中押しと、二つのゲーム性を体験できる機種となっています。

ロングRTと3種類のボーナスで出玉を増やすノーマルタイプ。設定1のボーナス比率は1:1:1（HBB:BB:RB）となります。



©武論尊・原哲夫/NSP 1983.
©NSP 2007 著作権許諾証YHN-219
©Sammy

ロングRTで“勝舞”

本機は、A+RT機で、ベースは50枚あたり約34.3G。ボーナス合成確率は1/229.9~164.6。出玉率は、ボーナス最速察知など、完全攻略したもので99.7~115.1%です。

■通常時

本機は、2018年1月にホール導入の「パチスロコードギアス反逆のルルーシュ R2 C.C.ver.」に続く、「GRT」と銘打ったA+RT機の第2弾。演出は、2016年10月に登場した「パチスロ北斗の拳 修羅の国篇」をベースにしています。

通常時は、順押しで消化するか、中押しで消化するかによって、ゲーム性が変わる仕組み。

順押しで消化すると、連続演出に発展する確率が低く、リーチ目が出やすい仕様。7図柄の一直線や小役はずれ型など、出目を楽しみたいユーザー向けです。

一方の中押しは、「北斗」王道の中リール北斗図柄狙い。リーチ目の出現率がおさえられ、チャンス役を引いたあと、連続演出に発展しやすくなっています。中押し中は、中リール中段に北斗図柄が止まればチャンス。左リールに中段チェリー（強チェリー）が止まったときのボーナス期待度は25%と、シリーズを踏襲しています。

■ボーナス

本機のボーナスは、3種類。

HBB（HYPER BB）は獲得枚数が300枚、RBは同64枚。

BB中は、技術介入要素があり、リール枠が白く発光し予告音が鳴ったら、順押しで左リールに、「北斗図柄・ベル・赤7図柄」をビタ押し。その後、逆押しで消化するだけで最大となる239枚を獲得できます。

また、RB中もBB中と同様の場所をビタ押しし、5回以上停止させることで、設定を示唆するボイスが流れることがあります。

■RT

「コードギアスC.C.ver.」では、ボーナスによって、RTのゲーム数が異なっていました（HBB・次回まで、BB・150G、RB・50G）が、本機では、一律100G。

RTの演出は、四つのステージから選んでプレーすることが可能。前兆を経由し、ボーナスの当否を告知する「ケンシロウ」、液晶演出が発生するだけでアツい完全告知タイプの「カイオウ」、バトル（神拳勝舞）に勝利すればボーナスとなる「シャチ」と、「修羅の国篇」の演出を受け継ぎつつ、ラオウ亡き後、ケンシロウの愛馬となった「黒王号」の足跡をたどり、ケンシ

ロウのもとまでたどり着けばボーナス確定の「リン」を追加しています。

「コードギアスC.C.ver.」同様、RT中はパンクして終了してしまう場合があるので、要注意。液晶の四隅にあるランプが白く発光した際は、順押しなら、左リールにリン図柄を、中押しなら、中リールに北斗図柄を狙うことで、パンクを回避できます。

最近のノーマルタイプの中では、設定1のボーナス合成確率が重めに作られている本機。設定2以上での運用が望ましいかと。

小役の取りこぼしもなく、ボーナスも最速でそろえる完全攻略時の出玉率は、設定6で115.1%とかなり高いですが、そこまでシビアなユーザーは多くないと思うので、積極的に6も使ってほしいところです。

PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して12年。業界歴は28年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画など多岐な活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。